

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	鈴木 幸司（16）	<p>1. 市道弥生線（千代田町地先）の冠水対策について</p> <p>岳南地域流域治水協議会による和田川・小潤井川・伝法沢川水災害対策プラン（令和5年3月）に、気候変動による降雨量の増加にも対応するため、流域のあらゆる既存施設を活用していくと書かれていることを指摘し、昨年9月定例会において、水害常襲地域である市道弥生線（千代田町地先）の道路冠水対策に、道路直下に存在する管径1.35メートルの排水管の使用が可能ではないかと質問したところ、建設部長より、弥生線の道路冠水に伴う浸水の軽減については、岳南排水路の利用が、短期間で効果が見込まれるものということで、可能性があると感じているので、組合のほうとは協議を進めていきたいという答弁を得た。</p> <p>そして、本年9月5日の伝法地区行政懇談会において、県や岳南排水路管理組合との協議が進まず、同地区における浸水対策が進まない点について住民より指摘された際、当局は、道路冠水箇所の人孔蓋をグレーチングに変更して田子の浦港まで雨水を流した場合、港を管理する県や（一社）富士環境保全協会の過去50年間のモニタリングが無駄になってしまうと説明している。つまり水質汚濁が心配なので岳南排水路を利用して降雨を港に流すことはできないとの主張である。しかし、そもそも田子の浦港には幾つかの河川を通じて雨水が流入しているし、浸水被害地区に貯留した水も最終的には港へと排水されているのであるから、この主張自体失当していると言わざるを得ない。そこで以下質問をする。</p> <p>(1) 県と締結した田子の浦港のSS2万トン協定について説明願いたい。</p> <p>(2) 田子の浦港に流入するSSについてはどこが責任をもって調査しているのか。</p> <p>(3) 各企業の水処理プラントを経て排水され、田子の浦港へと放出されているSSの年間総量と、河川を通じて田子の浦港に放出されているSSの年間総量を回答願いたい。</p> <p>(4) 前述の水災害対策プランには、流域のあらゆる既存施設を活用することや、リスクの低いエリアへの誘導や住まい方の工夫を含め、流域のあらゆる関係者が主体的に、水災害対策を推進する必要があると書かれている。市道弥生線の冠水対策として岳南排水路が計画した人孔の一部グレーチング化の障害となっているのは何か。</p> <p>(5) 短期間で効果が見込まれる可能性があるとした昨年の答弁を今回変更するのか。</p> <p>※SSとは「suspended solids」の略で、日本語では「浮遊物質量」。水の中に含まれる不溶解性物質のこと。</p> <p>2. 「する、みる、ささえる」富士市総合体育館について</p> <p>2009年（平成21年）公募委員も含めた市民が提案した富士</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	鈴木 幸司（16）	<p>市総合体育館及び武道館基本構想の「する、みる、ささえる」というコンセプトが、2018年（平成30年）富士市総合体育館整備基本構想の目標Ⅰ「する、みる、ささえる」場の創出という形で結実し、富士市初のPFI方式を導入して整備運営事業者が決定したのが2021年（令和3年）。そして実に17年の歳月を経て、2026年（令和7年）4月、いよいよこの新しい総合体育館の供用開始となる。</p> <p>オープンまであと半年、現在の準備状況を含め、以下伺う。</p> <p>(1) 6月に公募期限が来た富士市総合体育館のネーミングライツについて。</p> <p>(2) 整備運営事業要求水準書には、運営準備期間中に開会式典及び関連行事を企画し実施するとある。運営準備期間とはいつのことで、式典及び関連行事はいつ頃行われるのか。</p> <p>(3) オープニングの関連行事として、どのようなものを考えているのか。</p> <p>(4) 同水準書によると、ウェブサイトより一般利用の予約受付が可能となっているが、市民はいつから予約ができるのか。</p> <p>(5) 同じく、PFI事業者には大会やイベント等の誘致活動に積極的に取り組むことが要求されているが、来年度は、どのような大会やイベント等が誘致されるのか、その見通しを伺う。</p> <p>(6) 令和元年6月定例会で市長は、何らかの記念事業として開催できる機を捉えて、巡回ラジオ体操・みんなの体操会の誘致をしたいと答弁している。総合体育館オープンに合わせて、巡回ラジオ体操・みんなの体操会の誘致に動いてはいかがか。</p>	市長 及び 担当部長